



音楽のよろこび

2023年 3月27日 No.47
発行文責 担当事務局

世情は、高物価や、隣国の好戦的姿勢をチャンスとばかりの軍事費の史上最大の膨張、ウクライナを奇妙な論建てで侵略し続けるプーチンロシア、この瞬間にも命が失われていると思うと、言葉もありません。過去の多くの芸術に携わる人々が「平和！」をアピールし続けた事、そして今も心ある勇気ある人の声が私たちに届く時、私は共感と人間の信頼を取り戻していく自分に気づきます。

今日は、本講座2022年度最終回、「ピアノ」講師は、佐竹裕介さんです。以前、佐竹さんとお話したとき、「今、生きているピアニストで、佐竹さんが尊敬する方は…」とお聞きしたとき、「ダニエル・バレンボイムです。」と言われました。

♪ この一年を振り返り ご挨拶…………… ♪

この一年、コロナ禍の中ではありましたが、できるだけ対策をとり、皆様のご協力を得て、講座を終えることが出来た事を事務局として、感謝いたします。

一年を振り返りますと、京響の演奏家の方々はこの回をとっても、大変すばらしい演奏パフォーマンスと、よく準備されしかも特色あるトークで私達を深い感動や、新しい知識を得る機会を作っていたいだいたと思っています。そして、それは知らない間にクラシック音楽のより豊かな世界に案内してもらっていることに、気づきます。

一つ二つエピソードを取り上げますと、「サマーコンサート」では、打楽器の中山さんが直前にコロナに罹患されました。しかし、実力のある代わりの演奏家に連絡を取っていただき、予定通り実施することができ、大成功。

また、7月のヴァイオリン、コントラバスの回には、ピアニストの佐竹さんの素晴らしいトークを聴くことができ、このトリオによる別の講座が発足。既に1回目の講座は終了し、年4回で音楽をより深く極める試みが始まったことは、意義深い事かと思っています。

記憶に新しい「ニューイヤーコンサート」では、ピアニスト塩見さんをむかえ弦楽5部で、オーケストラを彷彿させる演奏をともない、ショパンコンチェルトNo.2を全曲演奏という、今迄になかったプログラムを実現。（聞けばメンバーの苦労努力された編曲とのこと）そんな「取り組み」をしていただいたメンバーの皆さまに改めて感謝いたします。

以上、どの回をとっても、京響の演奏家の皆さまのご自分の受け持つ楽器への愛情、誇り、音楽のすばらしさを聴衆と共有する時間を創り出していただいた事を喜んでおります。

そして毎回のアンケートにご協力いただき、ありがとうございます。書いていただいたアンケートは確実に私共の励み、ご意見番的役割を果たしております。





～アンケートから～

いつもアンケートにご協力
ありがとうございます。
アンケートは一部抜粋したのもの



ニューイヤーコンサートと言えば、ヨハンシュトラウス、それも豪華なメンバーでステキな演奏。コロナ感染や家人の介護と少し疲れ気味でしたが、リフレッシュできました。金本さんのコンサート裏話…元気をいただきました。

塩見さんと弦楽五重奏のピアノコンチェルト、まるでフルオーケストラを聴いているようで感動いたしました。塩見さんのトーク、雨だれも良かったです。ありがとうございました。

素晴らしい演奏をありがとうございました。アンコール曲のショパン「雨だれ」は聴き惚れました。

良かった！一曲 二曲 三曲…ラスト
ショパン アンコールまで。音色、指使い、
ショパンをロームでオールショパン2日。そ
して今日。ありがとうございました。

「春の声」新春にふさわしい幕開けの音楽！
そしてアイネクライネの全曲！！どれもすば
らしく、ピアノとの共演もすばしかったです。
本当は「ブラボー」立ち上がりて拍手し
たかったです。勇気がなくて残念でした。
来年度の音楽講座にも最後にねじ込んでいた
だき、感謝です。（ふじいさま）

新春にふさわしい晴れやかな演奏で気持ち
が明るくなりました。塩見さんのピアノ素晴
らしかったです、ありがとうございました。

年末年始にあわただしい日々を過ごして
おり少々疲れておりました。今日の講座が
楽しみでした。今日も素晴らしい演奏を聴
け、また毎日を頑張れます。心癒されまし
た。それぞれの曲はもちろん、金本さん
のおしゃべりも楽しめました。それから小
さな頃からなぜか好きな調律（チューニン
グ？）の音も近くで聞いて嬉しかったです。

このコンサートでショパンのピアノ協奏曲
を聴けるとは思いませんでした。

ニューイヤーコンサートにふさわしく、
シュトラウスの春の声は、軽快な演奏で感激
しました。モーツァルトのアイネクライネナ
ハトムジークはよく耳にしますが、全曲演奏
は初めてでとてもよかったです。最後のショ
パンピアノ協奏曲第2番はとてリズムが印
象的でうっとり、聴き惚れました。塩見さん
のピアノ演奏が素敵でした。アンコールの雨
だれはとても良かったです。クラシック曲が
中心ですが、映画音楽特集があればとてもう
れしいです。

「ニューイヤーコンサート」にふさわしい、
ヨハンシュトラウスの春の声で幕開けて、
今年こそは、明るい活気にあふれる年にな
ればと思いました。杉江さんの演奏、音色
が聞き分けることが出来る前列に座ること
が出来て、幸せでした。ドボルジャークの
弦楽五重奏曲ははじめてでした。きわだつ
ヴァイオリンの高音、きわだつコントラバ
スの重低音がすばらしい響きでした。ショ
パンのピアノ協奏曲聴こえてきたら、
「やっぱりショパン好き」と目がうるみま
した。ショパンは異世界へいざなってくれ
ますね。どなたが弾かれてもショパンは
ショパンですが、塩見さんの演奏は誠実な
響きがあり感動しました。わきあがって
くるこの音楽を聴かなければ、このわきたつ
ようなときめきは、眠ったまま終わって
いただろうと思います。ありがとうございました。
生演奏の力ですね。（外村律子さま）

終わった後とても体中が気持ちがよく、
足の親指の先までもいい気持ちでした。す
ばらしい演奏をありがとうございました。



弦楽アンサンブルの鉄板、アイネクライネからまさかの、ショパンのピアノコンチェルトまで。すばらしいプログラム、ありがとうございました。ショパン、オーケストラ版と



生演奏を聴く機会はありません、12月のこの教室を休んだので、久しぶりに胸や腹の内臓に響く音楽に聴き惚れ、足や体が調子よく揺れる感じでした。初めての音楽教室で、心しみわたるバイオリンの音色、腹に響くコントラバス、生演奏が益々好きになりました。来年度の講座案内で音楽教室は申込者が少し定員オーバーでも参加できるとのこと、楽し



感動の演奏会でした！！！！！！



春の声、演奏が始まりチェロとコントラバスの響き床を伝わって体を感じた。

アイネクライネナハトムジーク、全曲演奏、聴きごたえがありました。それぞれがとても良い仕事をしているなあ～そして何より5つの弦楽器の音の調べひびき、さすがモーツァルト！

ドボルジャークがコントラバスを楽譜に入れた曲、助走をつけて動く出す列車の様子が浮かびます。重低音があることでスパイス的な役割。

ショパンピアノコンチェルト第2番、聴



ピアノ協奏曲……少し変わっていてびっくりしました。感動いたしました。



♪ 音楽に関する文学的成句 ♪ チェリストパブロ・カザルスの発言から



今年度の最終は、20世紀最高のチェリストともいわれた、パブロ・カザルスの発言から

尚、パブロはスペイン語、彼の生誕の地カタロニア語では、パウ・カザルス、「パウ」は平和という意味だそうです。1876年生まれ1973年96歳で他界。弟子の平井丈一郎氏の京響との共演のため来日。

「...私は創造活動もし、抵抗活動もする。両方すればよいではないか」

「バッハは、すべての高貴な感情を音楽にうつす必然性を感じた”詩人”である」

「音楽は、あのすばらしい世界語は人びととのコミュニケーションの源になるべきだ。

私は世界の音楽仲間をお願いする。あらゆる人種をひとつにするために、あなた達の純粋な芸術を役立ててほしい。この理想が栄光の内に達成されるまで……できるだけの貢献をしよう」 松野迅著「すみれの花かご」未来社刊より

パブロ・カザルスの名言

☆人生における最優先事項は、成し遂げたい目標を持って事にあたることだ。

☆いとも簡単に見える演奏は最大の努力からしか生まれない。

☆最も完璧なテクニックは全く目立たないものである。

☆人は私を偉大なチェリストと呼ぶ。私はチェリストではない。音楽家だ。そっちのほうがずっと重要だ。



来年度（2023年度）第1回は
「ヴァイオリン」です

講師 安井 優子 さん

楽器の女王ともいわれている楽器
ヴァイオリン。
本講座には今まで何度か登場して
きました。



メモ